

問う！ ココを 市政の

# 一般質問

市のさまざまな施策や課題等について、議員が自身の提案も含めて市の考えを質するのが一般質問。9月定例会で出された「73」の質問から、厳選した内容をダイジェストで紹介します。

### 子育て・住環境の充実

健康福祉センター「サンテ」	p.7
带状疱疹ワクチン	p.8
移動支援サービス	p.12
補聴器購入補助	p.13

### 教育力の向上

学校作業療法室	p.9
学校教育	p.10
寺井高校	p.11
学校部活動の地域移行	p.11

### 安全安心のまちづくり

体育館の空調設備	p.12
災害対策	p.13

### シティプロモーション

能美電ラン&ウォーク	p.10
------------	------

### その他

次期市長選	p.8 / p.9
-------	-----------

本紙掲載以外の質問については、各議員のページに設置しているQRコードからYouTubeでご覧いただけます。

## 13名が登壇

詳しい内容は  
こちらから



※9月定例会の会議録は12月上旬に公開予定です

## 私はこう考える！ 討論で「賛成」「反対」

議案第76号 能美市営駐車場条例の一部を改正する条例について

**反対** 近藤 啓子 議員 (日本共産党)  
**料金の引き上げは理解できない**  
市民は安くて便利な駐車場を利用したい。長期駐車への対応は個別の対応が必要であり、料金の引き上げには反対。

**賛成** 今尾 晃司 議員 (流和のみ)  
**市民への事前説明を念入りに**  
趣旨には賛同するが、市民への事前説明を念入りに行うこと、利用状況の変化を精査し、議会と共有することを望む。

議案第90号 令和5年度能美市一般会計歳入歳出決算認定について

**反対** 近藤 啓子 議員 (日本共産党)  
**マイナンバーカードの危険性が増す**  
マイナンバーカードの取得は任意であり、マイナンバーカードを前提としたシステムづくりはやめるべきである。

**賛成** 北村 周士 議員 (能美保守の会)  
**黒字決算であり大いに評価**  
能登半島地震への対応や物価高騰対策などの適時適切な予算配分を行った結果の黒字決算であり、大いに評価する。

## 9月定例会 議決結果と議員の賛否



全議案の議決結果は市議会ホームページで公開しています

### 議案26件のうち 賛否が分かれた議案

○：賛成  
×：反対

議案	荒井 昌宏	中村 純子	澤田 貞	今尾 晃司	山下 毅	卯野 修二	北村 周士	仙谷 謙二	山本 悟	田中大佐久	田中策次郎	南山 修一	東 正幸	近藤 啓子	杉田 隆一
能美根上駅利用促進施設条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
能美市営駐車場条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
能美市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
能美市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
能美市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
能美市国民健康保険条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
能美市体育施設条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度能美市介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度能美市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度能美市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度能美市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度能美市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
事務の相互委託の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長は採決に加わりません

● 能美保守の会 ● 流和のみ ● 絆 ● 公明党 ● 清風 ● 日本共産党

## 「サンテ」の今後の 展望を問う

### 答弁 地域のインクルージョン も視野に

中村 純子 議員  
なかもろ じゅんこ  
能美保守の会



**Q** 能美市健康福祉センター「サンテ」について、今後どのような点を充実し、さらなる利用促進、機能強化を図るのか

**A** 胎児期から小中高校生の年代まで切れ目のない支援で、サンテに行けば子どもに関する相談ができるという市民の安心感を高めるとともに、人材の確保と質の向上を図り、様々な悩み・心配事に寄り添っていく。将来的には、こどもまんなか社会の実現に向け、地域のインクルージョン\*も視野に入れ取り組む。

健康増進においては、未病・予防ステーションに体組成計などを設置し、働き盛り世代をターゲットに健康づくりの応援をする。また、新しいキッチン

\*すべての人が地域社会で平等に参加し、支援し合い、安心して暮らせるようにする取り組み

スタジオを活用し、自らの健康づくりの拠点として利用してもらえる食育事業を実施する。さらに、子育てアプリはぐはぐ、市公式LINEを活用した積極的な周知を図り、世代を超えて交流し、愛され親しまれる施設となるよう邁進する。



▲リニューアルした能美市健康福祉センター「サンテ」

### こんな質問も

- ・ 児童虐待対応
- ・ 児童福祉相談
- ・ 舞台芸術鑑賞



## 带状疱疹ワクチン 助成制度の導入を

**答 弁** 市医師会と協議し 費用助成を進める

山 下 毅 議員  
能美保守の会



**Q** 带状疱疹ワクチン接種の普及を促進するために、市としてどのような啓発活動や情報提供を考えているのか

**A** 市民に带状疱疹の初期症状や経過、治療方法について正しい知識を情報提供する。その方法として、広報のみ、市ホームページ、さらに各種機関・団体にはSNS等を通じて啓発する。

**Q** 带状疱疹ワクチン助成制度を早急に導入せよ

**A** 国の厚生科学審議会で带状疱疹ワクチンについての議論が続いている。既に薬事承認されている生ワクチンと組み換えワクチンには、その単価や有効性の持続期間に異なる点があり、費用面も含めて効果的

な予防接種とするためには検討が必要とされている。市としては、今後、国の厚生科学審議会において定期接種化の具体案が示された際には、速やかに市医師会と協議し、任意接種への費用助成を進めていく。



▲带状疱疹ワクチン助成制度の早急導入を

こんな質問も

・新幹線延伸後の市の現状と影響



## 能美市政3期目の 舵取りを問う

**答 弁** 引き続き市政の舵取りを担いたい

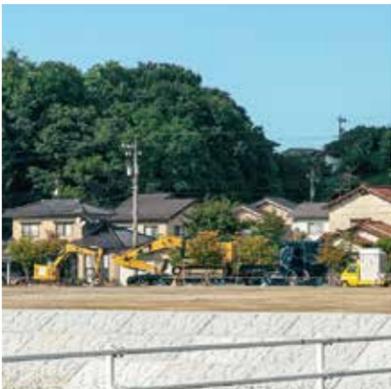
南 山 修 一 議員  
流和のみ



**Q** 来年の市長選挙において、3期目を目指して出馬し、引き続き市政を担う意思と覚悟があるのか

**A** スピード感を持って諸施策に取り組み、市民との対話を重ねることで、地域幸福度の指標とされるウェルビーイングの向上を推進させ、伸びゆく能美市の勢いを次世代につなぎ、さらなる飛躍に向け、切れ目なく進めていくためにも、引き続き市政の舵取りを担わせていただき、市勢発展に向けて誠心誠意努めたい。

定住につながるよう事業を展開してきており、戦略的企業誘致や市内企業の堅調な投資活動も好調に推移している。一方、財政状況の先行きは厳しくなると想定され、山積する課題の解決には創意工夫を凝らした施策展開が必要である。



▲良い子を育てるわかばみどりこども園の新築現場

**Q** これまでの市政運営の自己評価とともに今後の課題解決に向けた所見を問う

**A** これまで事業・施策の本柱の下、全てが移住・



## 次期市長選への 出馬を問う

**答 弁** 引き続き市政運営の 重責を担いたい

東 正 幸 議員  
能美保守の会



**Q** 今後の課題を精査した上での新しい施策や構想を問う

**A** 「防災減災対策」の強化が喫緊の課題であるほか、「市民力・地域力の強化」「知名度・魅力度の向上」「ゼロカーボンシティ」の実現など課題が山積している。様々な施策でデジタル技術を活用した取り組みを加速させ、誰ひとり取り残されないスマートであたたかな「スマートインクルーシブシティ能美」へつなげていきたい。

**Q** 3期目となる次期市長選 出馬への意思を問う

**A** 政治信条である市民ファースト、現地現場主義を貫き、市民が幸せに暮らし続けられる持続可能なまちづくりに

向けて、全身全霊をささげてください。今後も喫緊の課題への対応など諸施策を確実に継続して進めていくことが重要であり、初心を忘れることなく、引き続き市政運営の重責を担わせていただきます。



▲誰ひとり取り残されないあたたかな能美市へ



## 学校作業療法室を 設置せよ

**答 弁** 学校教育への有効性等を 調査する

荒 井 昌 宏 議員  
能美保守の会



**Q** 医療的ケアを必要とする 児童生徒への支援を行う 校内の体制整備を問う

**A** 医療的ケアを必要とする一人ひとりの児童に対し学校に看護師を1名ずつ配置している。また、各学校の教職員とも医療的ケアの共通理解を図るため、校内で定期的に支援会議を開いており、加えて各学校では個別の校内緊急体制マニュアルを作成し、全教職員で共通理解を図っている。

る作業療法士が、専用の個室で、専門的な見地から発達特性のある児童生徒の個性に合った学びを提供するものである。多様化を増す子どもたちの実態を踏まえながら、作業療法士の学校教育への有効性等をまずは調査していきたい。



▲能美市では特別支援教育支援員の増員に努めている

**Q** 学校作業療法室を設置して学級全体の指導体制を強化していく必要があると考えますが、市の見解を問う

**A** 学校作業療法室は、心と体のリハビリを専門にす

こんな質問も

・学校給食センター・HPVワクチン接種



## 教育現場のあるべき姿を問う

**答弁** **すべての児童生徒が安心して学べる学校に**

澤田 貞 議員  
清風

**Q** 不登校児童・生徒に対する対応を問う

**A** 今年度より、中学校3校全てに「校内ふれあい教室」を新設し、教員が一人ひとりの困り感に応じた支援を行っている。また、学校外の居場所として、市教育センターで職員が個々の児童生徒に応じた支援と学びの保障に努めている。

**Q** 学校における児童生徒の健全な食育について問う

**A** 学校給食センターの施設見学や体験型栄養教育SATを活用した出前授業を計画するなど、次代を担う児童生徒の食環境の改善に努めている。

**Q** 市内3中学校の35人学級への対応を問う

**A** 文部科学省令和7年度の概算要求によると、中学校においては40人学級を継続し、学力や教師の勤務環境などに与える影響を実証的に研究するとあった。今後も国や県の動向を注視していきたい。



▲9月から運用を開始した能美市学校給食センター

こんな質問も  
・認定こども園  
・最低賃金



## 寺井高校復活プロジェクトの立案を

**答弁** **生徒への給食の提供を検討中**

卯野修三 議員  
能美保守の会

**Q** 受験生の定員割れが続く能美市唯一の公立高校・寺井高校に対し、復活プロジェクトの立案が必要ではないか

**A** 寺井高校への進学志願者の増加の一助として、本年9月から運用を開始した能美市学校給食センターで調理した給食を寺井高校生に提供できないか、今後、石川県教育委員会と協議を進めていきたいと考えている。

寺井高校の学校生活に関する調査によると、現在、弁当を持参している生徒は約93%であり、8割の生徒から「給食が提供されるとしたら利用したい」との回答を得ている。栄養バランスの取れた学校給食を提供することで、生徒の心身の健全育成を図るほか、弁当調理の負担

がなくなることで、保護者にとっても大きなメリットになるのではないかと考えている。また、能美市では寺井高等学校教育振興会への負担金を毎年予算化しており、事業の趣旨に沿って有効活用されていることを確認している。



▲令和7年に創立60周年を迎える寺井高校

こんな質問も  
・AED更新補助  
・市の花・木・鳥



## 能美電ラン&ウォークを開催せよ

**答弁** **健康ロードを活用するイベントを検討**

今尾晃司 議員  
流和のみ

**Q** 健康ロード再整備による周遊コースの構想を問う

**A** 健康ロードと連結する9つのテーマ別コース案を検討している。海岸線や里山を眺めることができる自然をテーマにしたコース、古墳や九谷焼を巡る文化と歴史を感じられるコース、アップダウンのあるスポーツがテーマのコースなど、健康の増進とふるさと愛の醸成を図る構想となっている。

**Q** 能美市誕生20周年を祝した能美電ラン&ウォークイベントを開催してはどうか

**A** 現在、整備を進めている健康ロードは、能美電通100周年、廃線45周年、能美市誕生20周年の節目を迎える令和7年に向け、ふるさとの歴



▲市民に未永く愛される健康ロードに

こんな質問も  
・財政調整基金  
・事業の見直しと  
・選択



## 学校部活動の地域移行について問う

**答弁** **令和7年度末までに段階的に移行する**

山本 悟 議員  
流和のみ

**Q** 学校部活動の現状と課題を踏まえた地域移行について問う

**A** 少子化とニーズの多様化により、存続が厳しい部活動が出てきている。令和7年度末までに休日の部活動から段階的に地域に移行していく。

**Q** ふるさと振興公社に学校部活動の地域移行の運営を委託するメリットは何か

**A** 法人格を有する公益財団で事務局体制が整っていること、活動実績が部活動とも親和性が高く移行がスムーズであることの2点がある。

**Q** 地域移行を円滑に進めるために、専任のコーディネーターを配置せよ

**A** 地域移行を進めていく上で、関係者間の連絡調整の体制を構築することが大変重要であることから、元教員である学校教育アドバイザーが総括コーディネーターの業務を担えないか検討していきたい。



▲地域移行が進んでいるハンドボール部

こんな質問も  
・児童生徒数の推移



## 小中学校体育館に空調設備を設置せよ

**答 弁** 校舎の空調設備更新に合わせて検討する

近藤 啓子 議員  
日本共産党



**Q** 児童生徒の熱中症対策と避難所の環境改善の観点から、体育館の空調を整備すべきでないか

**A** 体育館を使用する際、昨今の猛暑による影響が生じており、指定避難所にも指定されていることから空調設置の必要性は認識している。校舎の空調設備更新に合わせて、体育館にも設置できないか検討する。

**Q** 空調使用料の引下げを行い、広く活用できるようにすべきでないか

**A** 今後の利用状況や近隣市町の動向を注視する。



▲小中学校体育館の空調設備を早急に整備する計画を

**Q** 物見山総合体育館、寺井体育館、根上勤労者体育センターに空調が設置されている。学校の部活動やスポーツ推進のために、使用基準を設け活用すべきでないか

**A** 危険な暑さの中で利用者の健康を守る観点から、空調設備の使用料減免や運用方

こんな質問も  
・オンライン診療  
・物価高への支援



## 補聴器購入の補助制度を創設せよ

**答 弁** 公的補助制度の創設を要望する

北村 周士 議員  
能美保守の会



**Q** 昨年12月の段階で、全国1747市区町村のうち237の自治体が既に補聴器の購入補助を実施している。補聴器の高性能化・高額化の傾向もあり、能美市が他の自治体先駆けて補聴器の購入に対する独自の補助制度を創設すべきではないか

フチエックや早めの受診について、周知していきたい。

また、軽度・中度難聴者の補聴器の補助については、全国市長会において公的補助制度の創設を引き続き要望し、国や県、近隣市町の動向を注視している。

**A** 補聴器購入に対する公的助成制度として、身体障害者手帳の交付を受けた重度難聴者が購入する場合に、補装具としてその費用の一部を支給する制度がある。一方で、加齢性難聴に多い軽度・中度難聴者は身体障害者手帳の対象にはなっていない。

国の調査結果では、難聴を早期に見つけることは重要であるとの報告もあることから、セル



▲高額化が進む補聴器

こんな質問も

- ・公共ライドシェア
- ・北陸新幹線延伸
- ・観光看板の更新



## 移動支援サービスの詳細な内容は

**答 弁** 一般ドライバーを活用した有償運送を行う

仙台 謙三 議員  
公明党



**Q** 広報のみに掲載の移動支援サービスの内容は具体的な内容は何か。運行開始時期や詳細な施策を検討しているか。また、スケジュールや費用など、市民に対して丁寧な説明を行え

**A** 運転手不足と多様化する移動ニーズに対応するには、現状の地域交通では限界がある。そこで、利用者の自宅付近の停留所と目的地を結び、地域の自家用車や一般ドライバーを活用した有償の相乗りサービス「公共ライドシェア」を導入する。

高齢化率が比較的高い国造地区周辺をモデル地区とすることを検討しており、来年3月の運行開始を目指す。今秋にモデル地区での住民アンケートを行う予定であり、各町会長には事業



▲有償の相乗り移動支援サービス「公共ライドシェア」

こんな質問も

- ・公立病院



## 災害に強いまちづくりの構想は

**答 弁** 自助・共助・公助を連携し実践する

田中 策次郎 議員  
絆



**Q** 市長が描く、今後の災害に強いまちづくりの理念と構想について問う

**A** 市民の生命と財産を守ることが私たちの使命であり、市民力・地域力を原動力に大震災や大雨災害を意識した防災対策を講じ、「誰一人取り残されない災害に強い能美市」を目指したまちづくりを展開する。ハード・ソフト一体となった備えとして、流域治水対策や情報発信等を強化する。また、市民が災害犠牲者とならない地域づくりを目指し、市民とともに地域防災力を強化し、関係団体と強いパートナーシップも構築していく。

ることと同様に、過去の災害経験から得た教訓をしっかりと防災・減災対策に反映し、自助・共助・公助が連携しあって着実に「安全安心のまちづくり」を実践していくことが、災害に強い能美市を実現する確かな道筋であると考えている。



▲地震後、水害に襲われた能登

こんな質問も

- ・コミュニティナース（サポーター）の役割

